

髄注をされた患者さんへ

髄注は、腰のあたりの背骨と背骨の間に針を刺し、髄液が流れている部分に薬剤を注入します。

髄液は、脳室で作られ、脊髄のまわりをゆっくりと流れます。血液の流れのように早く流れていないので、薬剤が脳や脊髄液全体に行き渡るよう仰向けで2時間安静にします。安静時間が過ぎ、吐き気がなければ、水分・食事を摂ることもできます。

髄注後、以下のような副作用症状がみられることがあります。症状を和らげるために、水分は普段より多めに摂って下さい。また、ご自宅に帰られた後も、24時間はご自宅で安静にして過ごされることをお勧めします。

なお、症状がみられた時は、治療を受けている診療科外来にご相談ください。



<髄注後の副作用症状>

頭痛 背中の痛み めまい 吐き気 嘔吐 耳鳴りなど

<患者さんへのお願い>

- *当日の入浴は禁止です。
- *ガーゼは翌日にはずしてください。
- *ガーゼをはずし、皮膚に赤みや痛みなどがなければ、入浴することができます。

連絡先：0476-22-2311

時間内：平日（8:30～17:00） 各診療科外来